

## 大綱5 「環境にやさしい安全・安心なまちづくり」～地球温暖化対策・再生可能エネルギー活用の推進について～ 10

GX推進室では、庁内横断的な意識醸成の促進のため全庁管理職向け研修会を開催したほか、市保有施設等に係る太陽光発電導入可能性調査を実施、完了しました。  
(担当：GX推進室)

○【12月】  
「脱炭素化推進のための管理職向け研修会」開催

講師：環境省 東北地方環境事務所 地域脱炭素創生室長  
NTT東日本 宮城事業部

○【8～3月】  
市保有施設等に係る太陽光発電導入可能性調査

- ・市施設……約600施設（建物数では1700棟を超える）  
→23施設に絞込
- ・公有地……約500カ所  
（一定以上の面積を有しているもの）  
→107カ所に絞込

今後、調査により判明したポテンシャルの活用について、次期環境基本計画において位置づけていくほか、庁内関係課と協力し具体化の検討も行っていきたいと考えています。

	23施設合計 (最小値)	公有地107カ所 (最大値)
想定設備容量 (kW)	1,520	17,102
年間想定発電量 (kWh)	1,780,702	27,717,569
年間電力消費量 (kWh)	7,248,497	—
年間電気料金削減額 (千円)	43,899	—
年間CO <sub>2</sub> 削減量 (t-CO <sub>2</sub> /年)	680	—

※上記数値は、あくまで一定の条件下でシミュレーションした結果です。発電環境、発電電力の消費など各種条件により増減します。

## 大綱6 「快適な暮らしを支えるまちづくり」～水沢公園を活かした魅力あるまちづくりに向けた取り組み～

令和9年に開園150周年を迎える水沢公園の更なる魅力アップや未来への継承に向けた再整備のため、公園再整備構想の検討を進めています。

(担当：都市計画課)

< 今まで >

- ① 水沢公園再整備Park-PFI導入可能性調査業務委託発注（交付金活用）
- ② 庁内関係課合同打合せ（R6.10.23より4回開催）
- ③ 関係団体ヒアリング（R6.11.13奥州商工会議所、観光物産協会等）
- ④ 第1回水沢公園ワークショップ開催（R7.2.8開催）

< これから >

- ① 第2回水沢公園ワークショップ開催予定（R7.6月頃予定）
- ② Park-PFI可能性調査（R7.7月頃予定）
- ③ 水沢公園再整備基本方針の決定（R7.9月頃予定）
- ④ 水沢公園再整備構想の策定（R8.3月頃予定）

